

第八回気象文化大賞 受賞者（国内）

受賞者	テーマ
村上祐資	極地の暮らしから学び、被災家族と一緒に経験を共有するSHIRASE5002を拠点とした防災訓練キャンプ
山崎政彦	地震先行現象研究のための超小型衛星のプレジッドモデルの開発
瀧本家康	百葉箱を利用した宇都宮市における気温分布の実態調査～ヒートアイランド現象に注目して～
服部克巳	巨大地震のリアルタイム短期予測システム技術の開発：地圏-大気圏-電離圏結合の解明
成田知己	ICT技術を活用した高精度・低コスト型落雷位置評定システムによる気象災害防止に関する研究
清水孝彰	パナマ運河水文リアルタイムモニタリングシステムの構築に向けたガトゥン湖流域における3次元雨量計とインマルサット衛星通信を用いた雨量観測基盤技術の開発
永沼幹子	地震、大雨等を起因とする土砂災害について-実地調査等と高校生からの提言-
大河内 博	大気汚染は豪雨生成を促進するか？：首都圏ゲリラ豪雨とカンボジア熱帯性豪雨の比較研究
松山洋	土壌雨量指数と用いた土砂災害発生危険度の評価と、ロシアにおける融雪土砂災害への応用
反保聡史	ジュエリーアイスの出現時期推定手法に関する研究
増田純夫	富士山頂から地球環境問題の最先端を発信する